

学んで生かす視察

◇産業建設観光常任委員会所管事務調査

視察日 平成29年7月10日(月)

視察先 広島県尾道市

視察目的 自転車を利用した地域活性化について



瀬戸内しまなみ海道上には、自転車、歩行者専用道路があります。全面開通時から周辺自治体との連携により、サイクリングロードとして整備されてきました。合計で891台有するレンタサイクル（一社）しまなみジャパン）事業は、業務が町から委託され、貸し出し実績、特に海外からのお客様が過去最高を記録したようです。また、「おもてなし」の場所として「しまなみサイクルオアシス」事業を展開し、サイクリング客の気軽な休憩場所として、現在市内85箇所の登録があります。

また、「地元で雇用を創出する」ことを目標に掲げる民間の事業所の存在も強力でした。サイクリストにやさしいホテル業務を皮切りにとする「ONOMICHI U2」は、現代風なイメージ戦略で成功を収めています。

視察日 平成29年7月11日(火)

視察先 広島県世羅町

視察目的 農業の6次産業化の取り組みについて



観光と農業の連携による、6次化の先進地として全国に知れ渡る町です。

「世羅高原に一人でも多くの観光客を増やす」ために、「世羅町6次産業ネットワーク」を立ち上げられた。（現在町内75団体が加盟）この事業により、農業従事者が増加の傾向にあるようで、また、農家の経営的にも安定傾向にあります。地元高校との連携も積極的で、農家への作業をカリキュラムに導入したり、地場生産物を使用したスポーツドリンクの開発なども行なっています。

こちらでも、高齢化と担い手不足が今後の課題だとのことでした。

視察日 平成29年7月12日(水)

視察先 島根県邑南町

視察目的 定住促進政策・子育て支援について



日本一の子育て村を目指す取り組みが全国的に注目される町です。

平成23年度より、A級グルメ構想として町の魅力を発信し（攻め）、「日本一の子育て村」として、移住者のケア（守り）を行うことを徹底しています。その結果、平成26年以降、28年まで20人、6人、28人と移住者が増加しています。子育て日本一の具体的な施策は、「中学卒業まで医療費無料」、「保育料第2子目以降完全無料」「24時間緊急医療受付」「ドクターヘリによる緊急対応」などを行い施策展開をしています。